

動物科学課程

<紹介教員一覧>

	(氏 名)	(専門分野)
教授	喜多 一美 . . .	動物栄養学、家畜飼養学
教授	佐野 宏明 . . .	家畜栄養生理学
准教授	小田 伸一 . . .	動物栄養生理学、栄養機能学
准教授	澤井 健 . . .	動物生殖工学、家畜繁殖学
准教授	出口 善隆 . . .	応用動物行動学、動物管理学
准教授	松原 和衛 . . .	動物育種・繁殖学、生殖免疫学、実験動物学
准教授	村元 隆行 . . .	動物資源利用学、食肉科学

氏名	きた かずみ	所属	動物科学課程	
	喜多 一美			
専門分野	動物栄養学、家畜飼養学			
講義テーマ	動物の栄養とタンパク質合成 動物の体を作っているタンパク質は、常に合成と分解を繰り返しており、これをタンパク質代謝回転と呼びます。このタンパク質代謝回転が、栄養によってどの様に制御されているのかを説明します。 ニワトリは糖尿病？ ニワトリの血糖値はヒトの約3倍ありますが、糖尿病の合併症を引き起こしません。この原因と究明することで、ヒトの健康の維持に貢献することができます。このように、畜産で利用するニワトリは、ヒトの糖尿病という病気のモデルとして利用することが可能であり、医学に役立てることが可能であることを説明します。			

氏名	さの ひろあき	所属	動物科学課程	
	佐野 宏明			
専門分野	家畜栄養生理学			
講義テーマ	日本の家畜 我が国における家畜、特に食用となる家畜の歴史と現状をわかりやすく解説します。さらに、これからの家畜とのあるべき関わりについて考えます。 なぜ牛は草で生きられるのか 牛は草から乳や肉を生産することができます。この栄養のしくみについてわかりやすく解説します。 牛のげっぷと地球環境 メタンは温室効果ガスの一つです。牛のげっぷとして放出されるメタン生成のメカニズムや抑制技術、さらにはエネルギーとしての可能性についてわかりやすく解説します。			

氏名	おだ しんいち	所属	動物科学課程	
	小田 伸一			
専門分野	動物栄養生理学、栄養機能学			
講義テーマ	・ウシやヒツジの科学 ～緑の草から牛乳や肉ができる仕組み～ ・動物の視点から環境を考える ～ダーウィンとミミズの話をもとにして～ ・岩手大学の環境の取り組み			

氏名	さわい けん	所属	動物科学課程	
	澤井 健			
専門分野	動物生殖工学、家畜繁殖学			
講義テーマ	「体細胞クローン動物のふしぎ」 卵子と精子の合体（受精）を経ないで誕生する体細胞クローン動物。なぜそのようなことが可能なのか？どんな目的でつくり出される生命なのか？問題点は？ それら体細胞クローンのふしぎを、主に家畜を例にしながらわかりやすく解説します。 「新たな生命をつくる－動物の繁殖・生殖工学技術－」 人工授精（AI）や体外受精（IVF）、はたまた体細胞クローンにいたるまで、様々な繁殖技術・生殖工学技術を使って誕生する新たな生命。それら技術に関して、主に家畜を例とり、それら技術に使用する実際の器具なども紹介しながらわかりやすく解説します。			

氏名	でぐち よしたか	所属	動物科学課程	
	出口 善隆			
専門分野	応用動物行動学、動物管理学			
講義テーマ	「ヒトと関わる野生動物の行動」 ヒトと野生動物との間で、様々な問題が生じています。ヒトの近くで生活している野生動物の現状と、それら野生動物の行動についてお話しします。 「動物園の動物たちの行動と動物福祉」 動物園の動物たちは毎日何しているの？動物たちにとって「より良い暮らし」とは？「環境エンリッチメント」とは？そういった疑問に対して、動物行動研究の成果を通してお話しします。			

氏名	まつばら かずえい	所属	動物科学課程	
	松原 和衛			
専門分野	動物育種・繁殖学、生殖免疫学、実験動物学			
講義テーマ	・私の研究紹介：私の研究対象は大きく分けて以下の3つです。 1. 動物の母体と胎子の最初のコミュニケーション-超早期妊娠因子- 2. 動物の始原生殖細胞の基礎と応用 3. 野生動物医学 この3つのテーマの中から希望により分かり易く講義します。			

氏 名	むらもと たかゆき	所 属	動物科学課程	
	村元 隆行			
専 門 分 野	動物資源利用学、食肉科学			
講 義 テ ー マ	食肉の品質を非破壊で分析する 食肉の品質を科学的に分析したい、でも実験室の薬品を使って分析すると、二度と食べられなくなってしまう。そこで、薬品などを使わずに、非破壊で食肉の品質を分析する方法についてお話しします。 岩手の牛、日本短角種を科学する 岩手には、全国に、いや世界に誇れる牛がいます。その牛、日本短角種の魅力について科学的に解説します。			